

4. 介護老人保健施設

週	課題（ねらい）	実習内容	段階	指導上配慮すること・必要な価値・知識・技術（その他、参考となるテキスト・教材等）
第1週	<p>介護老人保健施設の役割・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保健施設および介護老人保健施設の役割の理解 実習施設・法人の理解 各職種・利用者への理解 	<ul style="list-style-type: none"> 介護老人保健施設の制度上の位置づけなどの説明 実習施設法人の概要説明 実習中の留意事項の説明 各部署の仕事内容の説明 施設内会議や行事などへの参加 	<p>職場</p> <p>職場</p> <p>職場</p> <p>職場</p> <p>SW</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会人としてのマナーを守り、積極的に実習に取り組んでいただきたい。 あらかじめ施設パンフレット等に目を通していただきたい。
第2週	<p>相談業務の実際と施設内外との連携の在り方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援相談員の業務を知る。 介護支援専門員の業務を知る。 業務で活用している社会資源の理解と地域の社会資源の把握。 アセスメントを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談援助業務の同行。（面談・事前訪問・担当者会議等） 記録の通読 行事やレクリエーションの参加。 地域の事業所や社会資源の見学・体験 ショートステイ送迎の同行 入退所状況の把握 	<p>職種</p> <p>職種</p> <p>SW</p> <p>SW</p> <p>職種</p> <p>職種</p>	<ul style="list-style-type: none"> 守秘義務 社会福祉士の倫理綱領に目を通し、意識した視点での姿勢が望ましい。 面談等ではケースに介入しない。 より沢山のご利用者の方と交流をもってもらいたい。
第3週	<p>社会福祉士としての視点から実習施設の相談援助技術を理解し、感じられる自己の課題を分析し、考察する。また、より深くご利用者の置かれる社会的立場・家族関係等の理解に努め、ご利用者本人の望む生活について寄り添っていきける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 面談を学ぶ。 ご利用者への理解 施設の役割と入所理由の現状について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談援助業務の同行 自己実現への援助の理解 深くご利用者と関わり、その方を自分なりに社会福祉士の視点から分析する。 各職種との連携を理解する。 	<p>職種</p> <p>SW</p> <p>SW</p> <p>職種</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者と深く関わりを持ってもらえる事は良い事だと思います。関わり方でわからない事やうれしかった事、感銘した事などどのような事も実習生と指導者とが報告し合う事ができ、気持ちの良い関係をご利用者と育てていただきたい。
第4週		<p>* その他実習中、何か作業的なものができる、実習の空き時間等に作業に取り組んでいただきたいと考えている。</p>		